

7. 交流拠点施設及び周辺地域の連携に向けた施策

町全体及び施設エリアごとの交流拠点施設及び周辺地域の再整備方針を踏まえ、各施設エリアの連携に向けた施策を次のように設定します。

施策項目	実施主体 (◎：主体、○：連携)				実施時期 (H29～37)
	地元	施設	町	その他	
①各交流拠点施設における案内サインの充実 ・各交流拠点施設において、町内の他の交流拠点施設までの距離や経路を示した案内サインを整備し、回遊を促進する。		○	◎		
②主要道路における案内サインの充実 ・各交流拠点施設と北陸自動車道 I C (鯖江、武生、敦賀) をつなぐ主要道路における案内サインの充実を図ることにより、来町者に対する案内性を向上する。			◎		
③複数ある「道の駅」の連携強化 ・多くの来町者が訪れる道の駅「越前」を核に、各地区に点在する道の駅のような施設 (パークイン丹生ヶ丘、おもいでな、よって駅ね) の連携を強化することにより、町内地区間の回遊性を向上する (道の駅としての登録も視野に検討)。		◎	○	観光連盟	
④スマートフォンを活かした回遊性の向上 ・「ポケモンGO」等のゲームアプリやAR (拡張現実) 技術を活用し、スマートフォンの機能を用いて町内の回遊イベントを開催するなど、交流拠点施設間の回遊性向上に向けた最新技術の利活用を図る。		○	◎		
⑤交流拠点施設の効果的なPRの実施 ・越前町観光連盟との連携による「えちぜん観光ナビ」への特集ページ開設や、旅館及び旅行代理店との連携による大都市圏をターゲットとした旅行商品 (宿泊・体験プラン等) の開発・営業など、交流拠点施設を活かした町全体のブランディングと効果的なPRを推進する。		◎	○	観光連盟	
⑥各交流拠点施設におけるホームページの充実 ・広報媒体で大きな影響力のあるホームページを全面的に充実し、施設の魅力発信につなげる。		◎	○		
⑦海外観光客 (インバウンド) の取込に向けた環境整備 ・公衆無線LANやクレジットカード利用環境等の整備検討を行い、インバウンドの強化につなげていく。		○	◎		
⑧オール越前町民による観光客おもてなし運動の実施 ・福井国体や東京オリンピック、北陸新幹線の開業など、大規模なプロジェクトに併せて、観光客の方に満足していただくために、越前町全町民による観光客おもてなし運動を展開する。	○	○	◎	観光連盟	
⑨休日や観光シーズンにおけるJR駅等からの周遊バスの導入 ・町内の移動の需要が見込まれる休日や観光シーズン (夏休み期間等) において、交流拠点施設間を定期的かつ高頻度に巡る周遊バスの導入について検討し、実現に向けた取り組みを推進する。		○	◎	観光連盟	